

#### 4. 上記以外の情報

##### 4 国際交流・社会貢献等の概要及び連携事業実施内容

##### (2)大学間連携、産官学連携、地域連携及び連携事業実施内容

#### 大学間連携

- [短期大学コンソーシアム九州](#)
- [大学コンソーシアム佐賀](#)
- [九州西部地域大学・短期大学連合産学官連携プラットフォーム](#)

詳細については、[佐賀女子短期大学ホームページ（トップページ）](#)の下段にそれぞれバナーを設け情報を公表していますのでご覧ください。

- 放送大学
  - ・単位互換に関する協定
- 長崎短期大学
  - ・包括的連携に関する協定書

#### 産官学連携

- 一般財団法人 公園財団（吉野ヶ里歴史公園）（包括的学術提携協定）  
ほか 産業界と連携し、インターンシップやアクティブラーニングなどを通じて学生が就業意識や社会人基礎力を身につけることを目的としている。
- 株式会社ミズ（連携協力に関する包括協定）
- 福博印刷株式会社（産学連携に関する協定）
- 株式会社西日本旅行（産学連携・インターンシップに関する協定）
- 共同組合アルタ・ホープグループ（産学連携に関する協定）
- 株式会社ティーウェイ航空福岡支店（韓国・産学連携）
- 株式会社ファルコンウィング（地域貢献や人材育成を行うための連携協力）

#### 地域連携

- ・連携協力に関する包括協定
  - 嬉野市（佐賀県嬉野市）
  - 白石町（佐賀県杵島郡白石町）
  - 佐賀商工会議所（佐賀県佐賀市）
  - 小城市（佐賀県小城市）
  - 武雄市（佐賀県武雄市）
- ・包括的連携・協力に関する協定
  - 佐賀市（佐賀県佐賀市）

（公表日：令和2年9月18日）

## ※連携事業の実施について（取組み内容）

### (1) 地元産業界等との地域の課題解決に向けた連携事業

#### 【富士町関谷そばの会と棚田ボランティアに関する協定】

1. 連携している地元産業界等の組織名称  
富士町関谷そばの会
2. 当該連携事業における地域の課題、その解決に向けて設定した目標  
課題：地域住民の高齢化及び後継者不足  
目標：棚田の魅力発信
3. 課題解決に向けて実施する内容  
学生による現地での活動

### (2) 地元産業界と連携した実践的 PBL を含む授業科目

#### 【さがら自然農園との連携・協力に関する協定】

1. 連携している地元産業界等の組織名称

さがら自然農園

2. 当該授業等を実施する学部・学科

地域みらい学科

3. 当該授業などを開講する目的

「サービスデザイン設計Ⅰ・Ⅱ」（2年次科目）

当該科目はグローバル共生 I T コースの I T デザイン分野の科目であり、履修学生の多くが「デザイン」に興味関心をもち、1年次にデザインスキルやデザイン思考について学んでいる。2年次には活動を伴う、サービスデザインを実践していくことで、社会への理解と学生の思考力・提案力（表現力）を向上させる。また身近な地域の課題を自分たちの考えとスキルで解決することで、社会とのつながりを意識させる。

4. 当該授業等の具体的内容

佐賀市富士町で有機農法で野菜を作り販売する「さがら自然農園」と連携し、野菜販売時のロゴマーク作成や販売戦略提案（WEB ページや販促物制作など）を行った。

「情報収集」→「課題抽出」「ピックアップポイントを決める」→解決策提案（プロトタイプ）→プレゼンテーションという流れで進め、実際に「さがら自然農園」の方にお話を聞き（5月）、一緒に農作業を行い（7月）、案を3グループから提案し、コンペ（10月）を行った。相良さんに選んでもらった1案を全員で微調整し、販売グッズ等を作成し、かささぎ祭にてロゴマークをお披露目、野菜販売を実施した（11月）。

その後、納品データとして「ロゴマーク」「ロゴマーク入りショップカード」「販

売時添付用レシピフォーマット」をまとめ、提出した。さらに一部の学生が卒業制作として「さがら自然農園」のHPを作成した。

(公表日：令和4年3月10日)